

〒470-0162
愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

株式会社喜多村
営業部 ニュースレター係

社長挨拶

平素は皆様方から沢山のご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。お陰さまで、株式会社喜多村は創業以来50年にわたり、フッ素樹脂潤滑用添加剤事業においては、多くのお客様にご支持をいただいております。

PFOAに対する規制におきましては、弊社といたしましても対応すべく尽力してまいりました。その結果、昨年KTLシリーズ既存品、規制対応品ともに、副生PFOAについてのBAT報告完了することに至りました。これからも規制対応品の提供など、皆様のご期待に添うべく、精一杯努力してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に新型コロナ感染症の流行により不自由な状況が続いていますが、一日も早い終息を願い、皆さまにおかれましては、素晴らしい日常が戻ってくることを心よりお祈り申し上げます。



代表取締役社長 北村 眞行

欧州 法規制動向

欧州ではPFAS（ペルフルオロアルキル化合物、ポリフルオロアルキル化合物及びこれらの塩類の総称）の規制がより一層強化される予定となっており、REACH ANNEX17 Entry 68にはC9-C14 PFCAがリストアップされました。弊社としましても今後の規制動向を注視し、適宜対応を行っていく予定です。

● EUのPFAS規制動向



● 2022年中頃までの流れ



● REACH ANNEX17 Entry 68

2021年8月4日に、C9-C14 PFCAとその塩・関連物質の制限官報が公布。
2023年2月25日に発効予定。

規制案 概要

閾値：C9-C14 PFCAとその塩の合算：25 ppb
C9-C14 PFCA関連物質の合算：260 ppb

※電離放射線照射を利用して製造したPTFEマイクロパウダーにおいては暫定措置として、C9-C14 PFCAとその塩の合算は1,000ppbの閾値で管理されています。（2024年8月25日までに欧州委員会で再評価）

【PTFE潤滑用添加剤についてのお問い合わせは下記まで】

営業部 営業1課 mail:info@kitamura ltd.jp Tel:(052)803-5151 Fax:(052)803-5190

不定期連載 西田農園vol.4 農民、籾殻燻炭を作る。

営業部営業1課の西田です。さて、ここ愛知といえばご存じ、瀬戸焼や常滑焼といった陶芸の一大産地。背景には粘土質な土壌があるわけですが、農業において適した土とは言えません。また日本の土壌は酸性に傾きがち。作物は弱アルカリ性を好むものが多いので、都度pH調整をしてやる必要があります。

そこで着目したのが籾殻燻炭。土の排水性と通気性を良くし、アルカリ性なのでpH調整材としても使え、独特の臭気も虫避けにもなるという優れたもの。農業資材として売られていますが、土壤改良にはそれなりの量が必要のため、痛い出費です。ならば自作してしまえ！ということで、秋に農場の片隅で作って土壌に入れてみたところ、冬の根菜類の根張りがよくなり、収量も食味も向上したような気がしました。今年は夏野菜でも効果を検証してみます。

ところで籾殻燻炭の着火、最初は思うようにいかず、途中で消えてしまうこともしばしばでした。試行錯誤の結果見つけたコツを、皆様にご紹介！製造中はかなりの煙が出るので、人家がない場所でお試し下さい。

- 一、地面に籾殻の山を築くべし
- 二、籾殻の中心に、燻炭器直径+αの穴をあけてドーナツ状にすべし
- 三、穴の中にて盛大に焚火をすべし 焚き付けはけちるべからず！
- 四、火が十分に燃え上るまで待ってから、燻炭器を被せるべし。焦り禁物！
- 五、素早く燻炭器の煙突空気穴の上まで籾殻で覆うべし



ネットで購入した燻炭器。直径1m、高さ1.2m、SUS製。煙突とじょうご部分に空気穴がある。



農園から車で30分、無料の籾殻を頂きに。頭上のパイプからひっきりなしに籾殻が排出されるので、帽子、ゴーグル、マスクは必須アイテム。コンテナにつめこんで軽トラの荷台に積み込む。



農園に帰還。上のコツ5箇条に従い着火。籾殻を被せ終わるまではスピード勝負。煙突から白煙が盛大に上がってから6~7時間放置。



途中で触りたくなるが、ぐっと我慢して待ったほうが、早く焼き上がる。9割が黒くなったら、全体をスコップで混ぜ、焼け残りの籾殻を炭化させる。

全体が炭化したら素早く消火作業へ。ぼやぼやしていると灰になってしまう。籾殻燻炭が水を弾くため、20分ほどかけて散水しながら冷ます。数日かけて乾燥させたら、袋詰めして保管。

●vol.3 農園土壤消毒記事 検証結果

以前の農園記事Vol.3では、土壤消毒を試し、消毒区と未処理区にミニトマトを8本ずつ植え、3週間後に未処理区で1本枯れたところまででした。結論：記録的な長雨により、両処理区ともトマトが全滅してしまい、今回は結論が出ませんでした。ですが、その後の雑草の生え具合は、明らかに消毒区のほうが少ないように感じました。今年の夏、再度検証する予定です。

オンライン展示会 「evort」に出展中です



2022年2月1日(火)から開催中の evort オンライン展示会 ~機能性素材総合展 プラスチック加工・材料展~に出展しています。フッ素樹脂潤滑用添加剤からは、電離放射線照射によるPFCA副生のない「KTシリーズ」を紹介しています。また弊社のもう一つの事業、受託粉体加工についてのページもごさいます。下記QRコードより、是非ご覧下さい。



evort



フッ素樹脂潤滑用添加剤 受託粉体加工 「evort」で検索

企業版ふるさと納税をしました

弊社古川工場の所在地である岐阜県飛騨市に、企業版ふるさと納税をしました。

1回目はひだ宇宙科学館カミオカラボ事業に、2回目は市内での映像作成事業に、そして3回目となる今回は、薬草事業に対して寄付をしました。喜多村は今後もこのような活動を通して、地元へも貢献していきたいと考えています。





受託粉体加工、フッ素樹脂 (PTFE) 潤滑用添加剤

株式会社 喜多村

〒470-0162 愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242
 TEL: 052-803-5151 FAX: 052-803-5190
 URL: <http://www.kitamuraltd.jp/> Mail: info@kitamuraltd.jp
 送付先の変更・配信停止ご希望の方は、お手数ですが、上記TELまたはMailにてご連絡ください。